

1 日時場所 平成30年12月25日(火) 15時00分開会
南魚沼市民会館 2F会議室

2 出席者

委員：南雲権治教育長、西野仁委員、角谷正雄委員、川島亜紀子委員、須藤文子委員

事務局：平賀教育部長、山崎学校教育課長、佐藤社会教育課長、笛木管理指導主事、田中管理指導主事、森田指導主事、種村囑託指導主事、佐藤学校庶務主幹、貝瀬施設主幹、学校庶務班 島田

3 議題

日程第1 **第12号報告 南魚沼市教育委員会教育委員の任命について**

(教育長) 須藤 文子委員の新任報告。

日程第2 **会議録署名委員の指名について**

西野 仁委員、川島 亜紀子委員

日程第3 **教育長及び事務局諸報告**

(教育長) 教育長及び事務局諸報告について各担当より報告。

日程第4 **管理指導主事等からの報告**

(笛木管理) 統合おおまき小の開校に向けて、再度教育計画の点検を行い、引越し計画、開校式・入学式の日程も決まった。3月には五日町・大巻両校の全児童が新校舎で顔を合わせ、新しい校歌を練習するなど、スムーズに新年度を迎えられるよう準備を進める。

上田地区の小学校統合について、10月から校長・教頭・教務主任との検討が始まり、まずは教育目標をどのように設定していくか、地域や保護者、子どもたちにもアンケートを取りながら、話し合いを進めている。あわせて、先般全教職員が集まり、主に学習指導、生活指導の部会に分かれて、それぞれ新しい学校の教育計画をどのようにしていくかの話し合いも始まった。

(教育長) 五日町小と大巻小の5年生が埼玉県深谷市の小学校と交流した記事が、埼玉県内の新聞に掲載された。また、統合おおまき小の修学旅行を、友好関係にある米沢市へという提案があったが、保護者からは今までどおり佐渡へという意見が多かったため、今回は見送ることとなった。

(森田主事) 就学相談の在り方や、種村主事と長田SSWを中心としたサポート体制が素晴らしいということで、12/17に県立教育センターで行われた「発達障がい支援に関する連携体制説明会」で事例発表を行い、南魚沼市の取り組みを参考にしたいという多くの声を頂いた。

総務省のIoT推進事業で、総合支援学校後援会のクラブ活動をサポートする形で南魚沼ICTクラブが開催する第2回目のプログラミング講座が、1/26(土)に開催される。

(教育長) 質疑はありませんか。

(全員) なし。

日程第5 **第32号議案 南魚沼市学齢児童生徒就学援助申請保護者の(追加)認定について**

(庶務主幹) 11月申請分就学援助申請保護者の認定について資料説明。

(教 育 長) 認定することに異議ありませんか。

(全 員) なし。

日程第6 その他

(1) 子ども・若者育成支援センターの相談等状況について(11月分)

(教 育 長) 本日、センター主催の講演会のため、センター長欠席。(内容は、日程4ページ、11月分相談等状況資料のとおり。)

(教 育 長) 質疑はありませんか。

(全 員) なし。

(2) その他

①学校給食アンケート調査結果について

(学教課長) 別紙資料、学校給食アンケート調査結果報告書について資料説明。

対象は小4年～中2年、総合支援学校も同じ年代。結果としては概ね好評で、安堵している。昨年より調理部門を一部委託化した。昨年度は教職員、今年度は児童生徒にアンケートを行った。驚いたのが設問8、23%の子どもたちが朝食をほとんど、またはいつも1人で食べていること。このあとも継続して調査を行い、経年の変化を見ていきたい。

(角谷委員) 生活習慣として大変重要な調査だと思う。学校間較差もあるかと思うので、結果を学校へ戻して、それが保護者へ伝わるようにした方がいい。

(学教課長) データについては各学校へ送ることになっている。

(西野委員) 設問2について、複数回答もできるような選択式の回答方法の方が良かったのではないか。

(教 育 長) 今言われたことを含め、内容について精査していく。

②公民館分館事業の地域コミュニティ活性化事業への移行について

(社教課長) (前回未回答だった部分について、別紙資料により回答)

大和地域については、30年度で分館長、分館協議員の任期が切れるので、実態として31年度中は社教課長が分館長を兼務し、条例上は31年度末に分館を廃止する。

(西野委員) 分館長はなくなるのに、人件費はU&Iときめき課から交付とはどういうことか。

(社教課長) 要は、ふるさと祭りなど分館が行っている事業自体が地域コミュニティに移行するので、人件費としての手当の部分も移行し、費用的なものは交付金として一括交付するという。但し、センターを使って行っている教養講座については、今後は分館事業ではなく、公民館事業としてセンターを借りた中で本課が行うこととなる。

(西野委員) 分館を廃止し、分館事業というものがなくなることで、今まで行っていたものをそれぞれどこが担当するのかという話だと思うが、1つ分からないのが、Q&Aにある「分館長の人件費」という言葉。分館がないと言っているのに、なぜ分館長の人件費が派生するのか。

(社教課長) 書き方が分かりづらかったが、今年度まで社会教育課予算だった事業的な人件費相当の部分は、分館廃止後は、交付金に含まれた形で、U&Iときめき課から地域づくり協議会に交付されることになる。

(西野委員) 公民館の活動として地域が要望するものは、その都度どこかにお願いすればいいのか。

(社教課長) 地域活性化事業で取り組みたい部分については、地域の中で声を上げていただき、地域づくり協議会の中で交付金の範囲で実施いただく。

(西野委員) 公民館としては、地域の要望を吸い上げるということはないのか。

(社教課長) 今までもそうだが、教養講座等は自主事業で行っており、「こんな講座があったらいい。」ということで要望をいただければ、マッチングをした中で、公民館の活動として新たなものが付け加わるということは当然有り得る。但し、ふるさと祭りのような事業的な予算が発生するものは、地域活性化事業の方で要望したほうが通りやすいかと思う。

(西野委員) ふるさと祭りや賀詞交歓会など、公民館活動ではないだろうというものも多くあり、これまで公民館が、地域づくりの部分に多くの労力を割かれていた。それに対する反省をしながら、「地域がやるべきことは地域に移行する。」ということでもいいのか。

(社教課長) そのとおりです。

③次期教育基本計画について

(西野委員) 次の教育基本計画の打合せが少しずつ動き出しているが、大きな問題として、市が「教育」というものをどう考えていくのか。「教育立市」なるものを、全市的にどう捉えていくのか、何処かの時点で確認する必要がある。また、AI など、急速的な社会の変化の中で、将来予測がなかなか出てこない。10年の計画を立てる中で、将来をどう予測するかによって、今後どういう教育が必要かということが当然出てくる。この2点を、ある程度時間をかけて論議しないと、絵に描いた餅になってしまう。したがって、この問題について少し固まるまでは、数人の作業グループを作った中で、定期的な検討作業を行っていききたい。その後、ある程度の方向性が見えてきた時点で、正式な検討委員の組織をお願いしたい。

(教 育 長) このことに関係して、1月の総合教育会議の中で、次期策定についての準備会など、現在までに考えている筋書きを事務局で作成するので、西野委員より市長に申し入れていただきたい。尚、総合教育会議は、①次期教育計画の策定②学区再編の今後の方向③学びの郷プランのこれまでの検証と今後の展開、について事務局で資料を作成し、段取り良く行いたいと考えている。

(教 育 長) 次回の教育委員会は、1月31日(木)10時から市立図書館多目的室で総合教育会議を開催したのち、13時30分から開催する予定。

16時50分閉議閉会